

令和8年（2026年）度施策評価シート

令和 8 年 6 月 30 日

評価者	文化観光部長 高橋 謙司
-----	--------------

○ 施策の概要

総合計画上の位置付け	分野	4-(6) スポーツ・レクリエーション	施策の方針	4-(6)-①スポーツ・レクリエーションの推進
目標とするまちの姿	総合体育館やスポーツ広場の整備が進み、競技スポーツが活性化することで、市民のスポーツへの関心が高まっています。また、身近な場所で気軽にスポーツ・レクリエーションに取り組める場が整備され、市民の運動習慣が向上し、健康寿命が高まっています。			
主な取組	(1) 市民スポーツ・レクリエーションの推進 市民が身近な場所で気軽にスポーツイベントに参加することで、スポーツを習慣化するためのきっかけづくりの提供や情報提供などを行います。また、障害者スポーツの推進を図るとともに、自然とふれあいながら行うウォーキングやマリンスポーツなどの野外活動の普及・奨励に努めます。 (2) スポーツ環境の整備 すべての市民が自ら生涯スポーツを継続できるよう、体力・健康づくり教室や運動・体力相談事業などのイベントや教室を開催し、気軽に楽しめる環境の整備を行います。 また、アマチュアスポーツや生涯スポーツの振興を支える団体を支援、育成するとともに、スポーツ活動を支援・指導する担い手を育成します。 (3) 競技スポーツの推進 市民が競技を行う上で目標となる市民大会等を開催する他、競技者の裾野を拡げるための教室を実施します。また、ジュニア世代を対象にトップアスリートやその指導者から指導を受ける機会を提供することで、幼少期から競技スポーツへのきっかけづくりを支援します。 (4) スポーツ施設の管理・整備 既存のスポーツ施設のバリアフリー化を行うとともに、市立小中学校の体育館・プールの開放など、市民が気軽にスポーツやレクリエーションを楽しめる環境を整備します。 また、市民大会を円滑に開催することが可能な施設の整備を目指します。			

1. 前年度(評価対象年度)の当該施策の目標

・市民がスポーツに親しみ、楽しみながら、健康的な生活を営めるまちの実現に向けて、市が計画的に施策の推進を図るため、既存のスポーツ振興基本計画を改定する。
・身近な場所で気軽にスポーツ・レクリエーションに取り組める場を整備するため、市のスポーツ施設のあり方をまとめる基本方針の検討を進める。

2. 投入コスト

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
事業費	313,851	298,626	273,075	335,775	288,651	282,739
人件費	50,436	50,526	49,038	48,298	56,831	55,222
総事業費	364,287	349,152	322,113	384,073	345,482	337,961

3. 施策の方針にひもづく事務事業とその評価結果

重点事業	整理番号	事業名	法定受託事務	事業費(千円)	人件費(千円)	総事業費(千円)	事業評価	貢献度	最終評価
	文観-39	保健体育運営事業		8,641	10,630	19,271	現状維持	A	現状維持
	文観-40	各種スポーツ行事事業		10,846	10,630	21,476	現状維持	A	現状維持
	文観-41	学校体育施設開放事業		28,366	10,630	38,996	現状維持	A	現状維持
	文観-42	体育施設管理運営事業		226,828	13,392	240,220	現状維持	A	現状維持
重	文観-43	体育施設整備事業		8,058	9,940	17,998	現状維持	A	現状維持

4. 評価対象年度の主な実施内容

- ・若い世代のスポーツ振興を目的にジュニアスポーツ栄誉表彰などを行った。また、障がい者スポーツへの理解を高めるため、市内小学校において車椅子バスケットボールの体験会を実施したことに加え、パラサーフィンの体験事業も実施した。
- ・スポーツ行事をスポーツ関連団体への委託及び指定管理者への委任により実施した。
- ・体育館・グラウンドの学校開放を行うとともに夏季期間中は9カ所の学校のプールの開放を行った。
- ・指定管理者への4施設の委任、西御門テニスコートの管理運営を行うとともに夏季期間中は海浜公園プールの開設を行った。

※実施できなかった事業とその理由

- ・(仮)鎌倉市スポーツまちづくり基本方針策定について、基本方針の策定にあたり、新たな検討事項が生じたことから策定の検討に留まった。

5. 成果指標

成果指標①		1回30分以上、週1回以上運動している市民の割合					出典	市民アンケート調査		
	令和2年1月	年次	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	単位	備考
初期値	44.4	目標値	60.0	60.0	60.0	60.0	60.0	60.0	%	
		実績値	未実施	47.8	47.7	52.2	53.7	45.7		
		達成率	—	79.7%	79.5%	87.0%	89.5%	76.2%	%	

6. 「施策の方針の成果指標」の達成状況等を踏まえた施策の達成状況の分析

日常のスポーツ実施率の成果指標である1回30分以上、週1回以上運動している市民の割合は、前回調査に比べ大きく低下した。委託によるスポーツ参加者数や学校体育施設の参加者数、スポーツ施設(指定管理施設4施設)の利用者数などは増加傾向にあるものの、少子高齢化また天候など外部要因の影響があったものと分析している。

7. 主な実施内容と施策の達成状況の分析を踏まえた評価

※主な実施内容と目標とするまちの姿の関係(達成状況とその理由)

「施策の方針にひもづく事務事業とその評価結果」における貢献度の分析

誘因力のあるスポーツ行事を行うことにより、スポーツへの参加意欲が向上したことから参加者数が増加した。また、学校開放も含めたスポーツ施設の利用者数についてはほぼ前年並みであり、「目標とするまちの姿」にある市民のスポーツのへの関心への高めることへの貢献ができてきているものの、その一方で「1回30分以上、週1回以上運動している市民の割合」が大幅に低下しており、市民の運動習慣の向上には貢献ができていないと評価している。

8. 今後の方向性

鎌倉ミライ共創プラン2030 該当施策	2-5 スポーツ・レクリエーション
・身近な場所でスポーツに親しみ、始めるきっかけをつくるため、関係団体等との連携強化や施設整備を進めていく。 ・生涯にわたりスポーツ活動を継続できるよう、関係団体等と連携し、スポーツイベントや情報発信、交流の場の創出などを通じて多様な機会を提供する。	